

A₁₆C

自分らしい住まいが欲しい
ありきたりでない仕事を
そんなあなたにA C B



□ 家庭訪問「オトナのひとり住まい」

□ 大阪R不動産 業務日誌／アツい物件カタログ

□ 連載・ニッポンの住

・アイトアンドクラフトの輪

・街だのな

・まだがんばってます！

・OSAKA WOW!!

ACBとは

パッケージされたふつうの住まいや旅では満足できない！
というひとたちに向けてリノベーションや、大阪R不動産や、
ホステルロクヨンをやっているアートアンドクラフト社が
発行するフリーペーパーです。

自分らしい住まいが欲しい
ありきたりでない仕事場をつくりたい
そんなあなたにACB

ACB issue 16

□家庭訪問 「オトナのひとり住まい」・・・ 02

・男性ひとり暮らしの場合 Dさんの家@大阪市西区

・女性ひとり暮らしの場合 Yさんの家@茨木市

□大阪R不動産 業務日誌／アツイ物件カタログ・・・ 07

□連載

・ニッポンの住 016 「オトナひとりの未来地図」・・・ 09

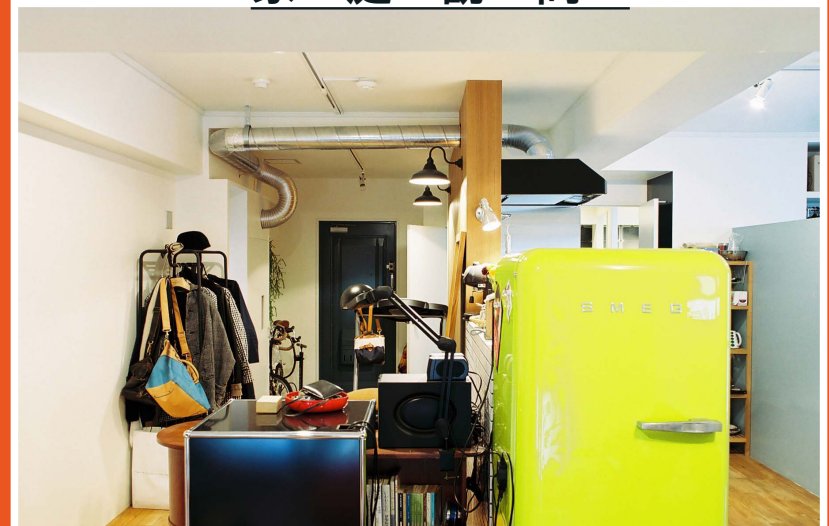
・アートアンドクラフトの輪 003

本間貴裕／Nui. ホステル&バーラウンジ・・・ 11

・まだがんばってます！ 014 「青便器」・・・ 13

・OSAKA WOW!! by HOSTEL 64 OSAKA・・・ 13

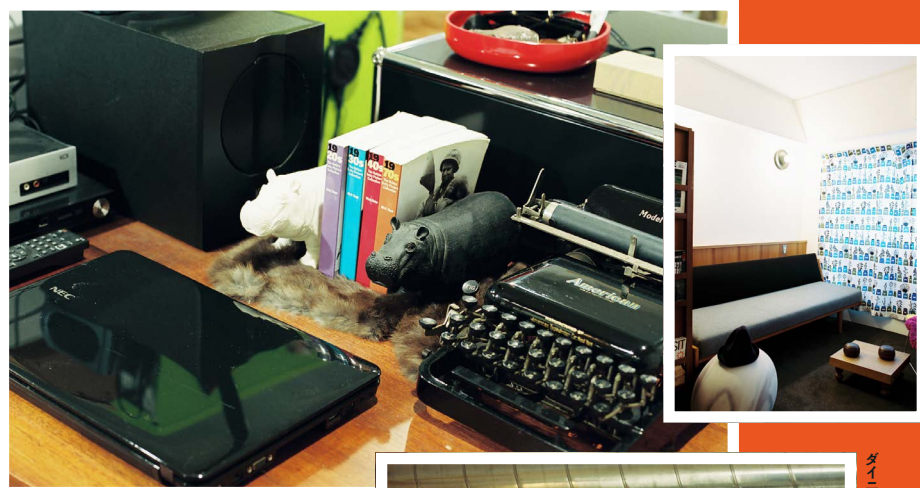
・街だのな 第11回目 by 辺口芳典・・・ 14



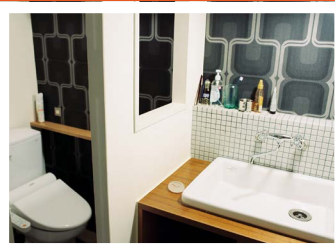
「オトナのひとり住まい」

大阪を含め都心部では単身世帯が急増しています。なのにオトナひとり向けの住宅があまりにショボすぎる件について、オトナの男女ふたりが選んだ家を訪問、本音を聞いてみました。ひとりだからって遠慮することないんですよ。もはやそれが今の時代のリアルなんですから。





ちゃんと料理がつくれる広めのキッチン



オープンに作られた洗面スペース



ダイニングセットは置かず、ワークデスクにランニングマシン。気ままに自分の時間を過ごしている

住まい：60㎡、間取りは1ルーム+LDK+STORAGE（大型収納）。ひとり暮らし向けの間取りながら、充実の住設備をそなえたリノベーション。住宅ローンを利用し、2180万円で購入。月々の出費は、ローンの返済とマンションの管理費等を合わせて11万円くらい。設計担当は枇杷健一（AGC）。

男性ひとり暮らしの場合 Dさんの家@大阪市西区

Dさん(35歳)
市內中心部でリノベーション済
中古マンションを購入しひとり暮らし。
職業：医師 趣味：マラソン、日本酒



— これまでの住まい遍歴

転勤が多いのと引っ越し好きなので、関西に来てから8回ほど引っ越しをしました。家賃は平均して11万円くらい。単身向けにつくられた住宅が主で、中でも印象に残っているのは、京都で住んだメゾネットです。冬は寒くて住みよいとは言えませんでした。バブル期のものなのか床が大理石だったり、2階部分が秘密基地のようで気に入ってました。

— ひとり暮らしならではのエピソード

外食中心で、好きでひとり飲みもよくするんです。馴染みの店があると生活の一部になるので、好きな店の隣のアパートに引っ越したこともありました。この辺りはひとりで行きやすい店が多いのでいいですね。今回のような家族世帯が多い共同住宅は初めて、はじめはちょっと浮いてるなあと感じましたが、エレベーターで住人の方にも会っても挨拶しやすい気がするので住み心地はいいです。

— ひとり暮らしの住まいを探す難しさ

限られた面積でも広く感じるように、ワンルームの部屋をいつも探していました。ただ、そうするとデザイナー物件になりがち。トイレ・浴室がガラス張りの家に住んだときも最初はおお~っと新鮮に思ってたんですが、住み心地という点ではどうだったか。デザインも意識すると、限られたコストでは手狭な物件になってしまうし。

— 今の家で一番使う場所、使わない場所

テレビ前のソファに居ることが多いですが、動線が繋がっているのでもっと同じように使えてと思います。うまく使えてない場所は、ストレージですね。まだ段ボールが積まれています（撮影の時も立ち入り禁止でした）。

— 住まいに対するポリシーなど

思い入れのあるものは捨てられないたちなので、関西に来てから家具を買う際には、一生使えるものと思って選んできました。やっと見つけても、何年も買わずにいる比較したりと。そうして選んだ家具なんで、揃ってきからはそれらに合うかが家選びのポイントになりました。

— これからの展望

賃貸でいろいろな物件を見てきて、ある程度満足したので、30代だしそろそろ購入しようかと考えてました。この物件は、結婚しても当面住めるようなサイズ感がちょうど良かったです。5~10年住むイメージですが、価格もちょうど良かったです。このエリアは公園も近くて静かだし、アクセスもよいので、今後、広めの物件が必要になってもこの近所で見つけないと思っています。

— ひとり暮らしはさみしいか

慣れてますが、風邪引いたときなんかはちょっとさみしいですね。職業柄、情けないですがよく風邪を引くので。

女性ひとり暮らしの場合

Yさんの家@茨木市

— これまでの住まい遍歴

初めてのひとり暮らしは大学の近くのアパートで1DK。古い、汚い、狭い、壁が薄い、さらにベランダがない！と悪条件がすべて揃っていましたが、まだ良し悪しがよくわかっていなかったですね。就職を機に、家賃と通勤のしやすさで決めた40㎡のワンルームは、2DKをぶち抜いたような部屋で、家具で仕切ったり目隠ししたりと工夫していました。家主さんがリフォームの融通を聞いてくれたので、あまり不満なく5年間住みました。

— ひとり暮らしならではのエピソード

家を買ったといえば、「え。結婚しないの？」みたいな反応をされること。いちいち答えるのも面倒なので流しますね。人によって価値観が全然違うんだと思います。実家の両親に相談した時は「ふーん、いいんじゃない？」程度でした。あとは、休日に常備菜を作り置きするのですが、忙しい時は、さっと食べて帰りたいのに「飲み」以外で使える、ちょうどいい店が少ないのが残念です。

— ひとり暮らしの住まいを探す難しさ

学生向けの次は、夫婦で住めますよサイズになる。間はないのかなと思っていました。内装に関しては、そもそも原状回復の制約が大きすぎてなにもできないし、家具だけではインテリアの工夫にも限界がある（というか家具が逆に浮く）ので、ほとんどあきらめていましたね。あと余談ですが、今の家に住んでから部屋が本当に片付けられるようになりました。これまで整理整頓が苦手だと思っていましたが、根本的にスペースが足りてなかったんだとわかりました。

— 今の家で一番使う場所、使わない場所

使っていない場所はないです。オーダー設計だから当然かもしれないですね。

— 住まいに対するポリシーなど

哲学というほどではないけれど、家がどこよりも落ち着く場所であってほしいと思います。季節感を感じられることは大事。だから緑の多い郊外に住むと決めたのもありますね。そういう外の空気感を家の中にも取り込めるよう設計者さんにも伝えました。

— これからの展望

緻密な計算はしていません。ただ、仕事を辞めるつもりはないですね。大学卒業時に地元に戻るかどうかはじっくり考えて大阪にすることを選んだので、転職したとしても基本的には通える範囲でと考えます。今後、結婚するなら一緒にこのまま住むか引越すかその時に考えたいと思います。どうしてもここに住んでいなければいけないという一生モノみたいな感覚はないです。

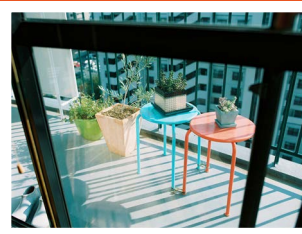
— ひとり暮らしはさみしいか

ひとりの時間も楽しいですし、特に感じないですね。友達もよく来てくれて、一度来るとまた来たいとリピーターになるのはちょっとおもしろいですよ。

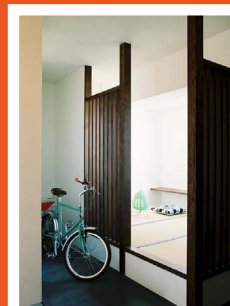
Yさん（30歳）

阪急電車の行きかう郊外で中古マンションを
購入&リノベーション。住んで2年になる。

職業：会社員 趣味：植物を育てる、読書、旅行



日当たり良好。植物がよく育つ

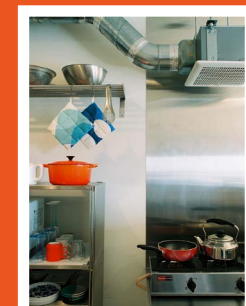


玄関脇につくった“離れ”スペース



友達が遊びにくつろぎに？）来ることも多い

住まい：築39年、70㎡の部屋を1320万円
で購入。大きくつながる1ルームにリノ
ベーションした。工事費用は約850万円。
総費用のうち1900万円を借り入れて、
月々の出費は、ローンの返済とマンショ
ンの管理費等を合わせて8万円くらい。
設計担当は合田昌宏（AGC）。



ステンレスでシンプルにまとめたキッチン

いざ物件を探すとなったとき、なかなか顔が見えてこない大家やビルオーナー。
今回は、大家やビルオーナーと不動産屋、そしてお客さんの三角関係のお話。

スタッフ業務日誌

■歩み寄る大家さんの物件

7月0日 不便だけいいんですか？

柏原市にある古民家に問合わせ。大阪市内から電車を乗り継いで50分くらいと少し遠いけど、この物件には不便さを補う魅力がある。長い年月にしか出すことができない古民家ならではの味わい、ペット(大型犬も!)、楽器、改装もほとんど何でもOK。入居者のこだわりに歩み寄ってくれる大家さんの物件だ。お客さんはもうすぐ籍を入れるカップル。夫婦になって一緒に生活する初めての家になるのだから、しあわせな結婚生活を送ってほしい。お客さんも大阪市内に勤めているので、案内前に「通勤や遊びに行ったりするのに不便なところだけと本当に大丈夫ですか？」と何度も確認した。「それでも見てみたいです」というお返事。「この人ならきっと」という期待を胸に抱き、案内することに。

7月Δ日 ワインを飲みながら

案内当日。たまたま都合が合って来てくれた大家さんが、柏原でつくられているワインを用意して待っていた。物件を案内した後、大家さんがワインをお客さんに振舞い(僕は仕事なので断った)。和やかな雰囲気の中、柏原の魅力を語ってくれた。物件自体は気に入っていたけど、柏原という土地をまったく知らなかったお客さんは、大家さんの話を聞いて心が動いているようだった。案内が終わって外に出たとき日が暮れていた。1時間以上話していたようだ。こんなに密度があって楽しい案内は初めてだ。この二人に住んで欲しいな～と思いつながら電車で揺られて事務所に帰る。ワイン飲みかかった…。

7月0日

柏原の物件に案内したお客さんから「決めました」という連絡を頂く。こんなに内見案内がまたできたらいいなと思いつながら、契約の準備をする。

■ビルオーナーが変わったら

9月0日 新しいビルオーナーと

事務所の改装費を一部負担してくれるという理解あるビルオーナーの物件に問い合わせが来る。オーナー側の仲介業者に確認の電話をしたところ、「最近オーナーが変わったので、以前のように入居費を負担してくれるかわからない」という。それでも

お客さんは物件を見てみたいというので案内したら、とても気に入ったのでここがいいという。新しいビルオーナーと交渉することにする。

9月Δ日 長い交渉

物件現地でお客さんとオーナー側の仲介業者、リフォーム業者の人と顔を合わせて話し合う。自分らしい仕事場をつくりたいお客さんの思いとビルの経営をしなければならぬオーナーの思いを擦り合わせていくために、何度も交渉しなければならなさそうだった。とても熱心なお客さんなので、僕もがんばって交渉しようと思う。

9月0日 ボールペンとおにぎり

三度目の交渉の帰り道、「オーナーが変わるとこんなに大変なんだ」と公園で缶コーヒーを飲んで一休み。そこへ見知らぬおじさんが僕の方にやって来て、「お兄ちゃん、このボールペンあげるからおにぎりとお交換せんか？」と数本のボールペンを驚愕に似た手を僕の目の前に差し出した。「ペンは持っているし、おにぎりは持っていないので…」と丁寧にボールペンとおにぎりの物々交換を断る。

10月0日 自分のこだわりをあきらめない

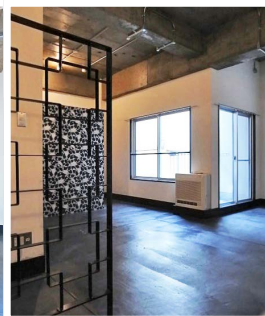
何回目かの交渉の末、ついにオーナーさんからOKをもらう。お客さんも忙いスケジュールの中、自分の希望をあきらめず根気強くがんばってくれた。長い道のりだったけど、このお客さんならこの部屋を素敵にして、気持ちよく働いてくれるのだと思うと達成感がこみ上げてくる。どんな仕事場になるのか楽しみだ。

■不動産探しのアカルイミライ

僕たちは自分が惚れ込んだ物件を紹介している。だから、お客さんを案内するときは「あなたに借りて欲しい」と思いたい。大家さんやオーナーもきっとそうだ。「あなたでいい」ではなくて「あなたがいい」、「ここがいい」ではなくて「ここがいい」。こんな風に物件を決めてもらえるように、日々魅力的な物件を探している。

中土喜博

スペインの巡礼の旅で900キロ歩くほど、歩くことが好きですが、物件探しの相棒はレトロな自転車の「フローレン」です。
ときどき物件が人に見えます。



昭和43年築。元は衣料品卸商社のビルだった建物を親から子へ、子から孫へ代々受け継がれていくヨーロッパのブチャパートメントをイメージして、集合住宅にコンバージョン。

時代遅れになったと覆い隠すようにリフォームするのではなく、年月を経た味わいを糧に、敢えて時代を遡り1920～1930年代のアルデコ様式とそれ以降のモダニズムを融合させたデザインで再構築。

共用エントランスからストーリー性の濃い空間が続き、室内は3メートルを超える天井高やモルタルの床が特徴的。これぞ都心に潜む【オトナのひとり住まい】どハマリの物件

所在地：大阪市中央区錦屋町1丁目

賃料：12万円

面積：43.78平米

最寄り駅：地下鉄谷町線・中央線

「谷町四丁目駅」徒歩2分

保証金：なし

共益費：11,000円

礼金：賃料の2ヶ月

建築構造：鉄筋コンクリート造

地下1階・6階建

取引態様：仲介

築年：1968年

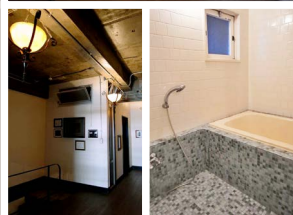
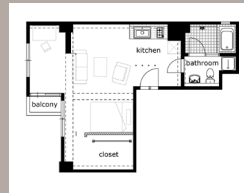
備考：*賃貸借保証委託契約必須

(初回保証料：総賃料の50%・年更新料：10,000円 ※連帯保証人必須)

*指定火災保険必須(16,000円/2年)

*事務所、SOHO使用は賃料・共益費に別途消費税

設備：エアコン、2口ガスコンロ、浴室乾燥機、オートロック、エレベーター、光ファイバー、CATV、リノベーション設計アートアンドクラフト



お問い合わせは大阪R不動産サイトの同名物件の問合せフォームからお願いします。

www.realosakaestate.jp



中谷ノボル：アートアンドクラフト代表。建築、不動産、旅が仕事のフィールド。2010年HOSTEL 64 Osakaを開業、2011年に大阪R不動産をスタート、いまは沖縄で建築リノベーション真っ只中。1級建築士。船舶は2級。海に沈む太陽好き。

30歳未満お断り。今回は「オトナのひとり住まい」がテーマなのだ。4年前にも一度この題材で書き、先日R不動産のコラムで触れたばかり。でもまだ話し足りない。なぜか？ いまだオトナのひとり住まいが社会でマイノティー扱いされていると思うから。おさらいしよう。大阪市では単身世帯が急増している。平成2年からの20年間でなんと倍増。いまや全世帯のほぼ半数が単身世帯。半数ですよ！ 高齢の単身世帯が多いことはイメージできるだろう。逆に少子化でひとり住まいの代名詞だった若者の単身世帯が減っている。めだって増えているのが中間の世代、つまり「オトナ」のひとり住まいなのだ。不思議なのは、こんなにも成長しているオトナひとり市場をターゲットにした、住宅などの商品開発がまだ少ないこと。おおびらに触れてはならない、夢みる負け組シングルばかりとでも思っているのか。表出する機会が少ないだけで、実際のオトナひとは想像以上に多様だ。

じゃ、どんなオトナひとり住まいの人がいるの？ 強引に分類してみた。
① いずれ結婚したいが、まだひとり気

ままがいい。② 年齢とともに要求も上がった。ホントに結婚できる？ な、ひとり。③ そもそも結婚願望がない。あったけどもうない。で、ひとり。④ 同棲や結婚。異性、同性含め、かつてパートナーと暮らしたことがあるが、今はひとり。⑤ 子どもまで授かり家庭ももったが、今はひとり。⑥ 海外赴任など仕事の都合で、ひとり別居。主なパターンはこれくらいだろうか。①②③が晩婚化、未婚化、非婚化。④⑤が離婚増に、死別と蒸発。⑥が企業のグローバル化など、社会状況のトレンドと、オトナのひとり住まいの増加は密接に関係している。沖縄への赴任で自身も20年ぶりにひとり住まいを始め、思いがけずこの流行にのっかることになった。かようにオトナのひとり住まいには様々な理由、パターンがあるのだ。

では、オトナひとり住まいの長所と短所は何？ ひとことで言うなら、「勝手気ままだけど、寂しい」に尽きる。恩恵は、自分の都合で生きていけること。腹が減ったときに食べ、寝たいときに寝る。相手に合わせる煩わしさもなければ、妥協の産物もない。不規則になろ

うが自己責任でOKだ。恋愛も自由にどうぞ。とっかえひっかえも可能。もちろん魅力が伴わないと無理だが、40歳を過ぎてからの同窓会では、男女問わず単身者ほど体型など見かけをキープしてるヤツが多い気がする。自分だけに投資できるからね。ひとり暮らしには、凜とした人も多い。経済的な自立を求められるだけでなく、身の回りの事すべてをしなければならない緊張感がそうさせるのか。一方、ひとり住まいの難点は寂しさ。それを紛らわせようと、やたら仕事に没頭し帰宅が遅くなる人、誰彼誘って毎夜呑みに行く人も多いのでは。孤独への耐性がある程度ないと、ひとり住まいは長く続けられない。

そんなこんなで、ひとり住まいへの向き不向きも整理できそうである。孤独も嫌いじゃない。安定より変化を好む。相手に迎合するより自分で決めたい。協調性に乏しく自由に生きたい。そんな人こそ、ひとり住まい。それ私！ 人はいいんだが、「自由勝手したいのに寂しがり屋」という、その貴方も安心ください。今や単身世帯はメジャー。その寂しさを紛らわすサー



art work by 吉田周平

ビスや商品の供給は、いま以上に増えてゆく。住宅の分野なら、オトナに向けたシェアハウスなんかも。各部屋にキッチンやバスルームまであり独立性を保ちつつ、共同の食堂もあって仲間らと楽しく暮らすことができる新スタイル。コレクティブハウスと言い、北欧ではすでに広く知られている。独りで生きていくか、誰かと同居するかの二者択一ではなく、このような第三の住まい方も将来は広がるのかもしれない。いずれにせよ、現在のひとり住まいをいっぱい楽しんでほしいものだ。「どうせ今は仮の状態だから」と住居をなおざりにして、気がつけば何年もそこで暮らす人は多い。本当は、ひとりの今だからこそ、最高に自分勝手な住まいづくりをすべき。商売で言うてるんと違いませ。ホンマに！

artwork : 吉田周平「Some pictures」2011

1980年石川県生まれ。身近なものに手を加える形で制作。簡単な方法でその物や空間の意味と感じ方を変える。一つの枠としての絵画。 <http://yoshidashuhei.com>

アートアンドクラフトの輪

いいね！友達になりたい！と、A&Cが勝手に共感した人々を訪ねます。文／中谷ノボル（アートアンドクラフト）

003 本間貴裕／Nui. ホステル&バーラウンジ

これまで日本にはなかった高いクオリティのホステル。いま東京で話題のNui. HOSTEL&BAR LOUNGEは、他の宿とどこが違うの？ 同じく大阪でHOSTEL 64 Osakaをやっている私たちが、運営会社のBackpackers' Japan代表、本間貴裕さんを訪ねてきました。

— 大きい！2店舗目にして思い切りましたね—

1店舗目のtoco.に対して、このNui.は約4倍の規模となる100ベッド。最初が木造のゲストハウスだったので、今後も古民家でいくんでしょ、そうわれてたのを裏切りました。

— じゅうぶん裏切ってますよコレは。宿の自慢は何ですか。

1番はスタッフ。みんな考えて仕事しています。特に考えて考えたスタッフから出た、思いもよらない意外な提案にいいものがあります。

— みんなが役割分担できてるんですね。Nui.のキャッチコピーってあるんですか。

Nui.自体にはないですね。僕たちの会社の理念が「あらゆる境界線を越えて、人々が集える場所を。」なので、それを具現化しています。

— なるほど。宿のゲストだけでなく、BARのお客さんもそうってますね。Nui.以降、ホステルって言葉も広まりました。この先どうなりたいですか。

ホステル探してのNui.じゃなく、ここを目ざして来る人を増や



したいです。Nui.が普通名詞になるみたいな感じ。

— カップヌードルやハクキンカイロですね。すでにそうなってるかも。次の展開はどうします？

Nui.の世界観を海外にも輸出したいです。まずは台湾やオーストラリアかな。理念に合えば、ホステルという業態にもこだわりません。

— めっちゃがんばりますよねー。仕事で嫌なコトとかないんですか？

よくコンプレックスをバネにがんばる人っていますよね。僕はたぶん違うんです。コンプレックスらしいものないし。でも刺激がなくなったら辛いかも。刺激依存症ですね。

— その感覚分かるかも。でもほんまにコンプレックスないですか。何も？

かつては「天パ」を気にしてました(笑)

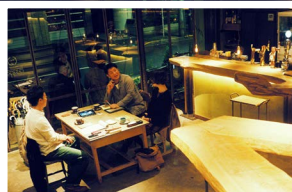
— では最後にホステルを始めたいという人にひとこと。

やりたい人はそのままやればいいと思います！

いやあ、すっかり長居しちゃいました。なんと7時間！取材後もNui.のバーラウンジで「本間さんとその仲間たち」と呑みました。いかに迷惑だと分かっているのに、まだ帰りたくない。宿泊するゲストを大満足させるクオリティの宿でありながら、泊まりもしない人をそこまで魅了してしまう。ホステルとバー、旅行者と地元民。そこは既存のホステルとは違う、境界線を越えたNui.という場所でした。

本間貴裕

株式会社Backpackers' Japan CEO代表取締役
1985年生まれ。福島県出身。2010年にゲストハウスtoco.を開業。
2012年、Nui.を開業。只今、始めたばかりのサーフィンに夢中。
<http://backpackersjapan.co.jp/blog/>



世界中から旅人が集う西区新町の宿、HOSTEL 64 Osaka (ホステルロクヨン)。
「大阪スゲー！ビックリしたよ」。フロント係が耳にした、街で外国人ゲストが体験した出来事とは…。

「なんで大阪の人は自転車で乗りながら笑っているの?」。レンタルサイクルで出かけていたゲストに聞かれ、「え、そうなん?」と逆に聞き返す。東京では険しい顔のサイクリストはよく見かけたけど、笑っている人はあまりいなかったという。

その日の帰路、行き交う自転車乗りを盗み見ると、微笑んでいるおばちゃんから、本気で歌っている女子中学生、何か叫んでいるおっちゃんetc…、マイワールドに浸っている人のなんと多いことか。「ほんまや…」と呟きニヤリとしてから、自分もその一員であることにハッとする。ははーん、そういうことか。



HOSTEL
64 Osaka

●レトロであたらしい
デザインホステル
1泊3,300円より
[http://
www.hostel64.com/](http://www.hostel64.com/)

フラットでコンパクトな大阪の街、急いでなければペダルを漕ぐことに集中する必要はない。呼吸するように足を動かしていたら、一瞬家にいるようなリラックスモードになって、ついつい自分の世界に浸ってしまう。なんて勝手な想像だけど、質問してきたあのゲストも自転車で乗りながら笑っていたに違いない。

vol.14 まだがんばってます！

建物を解体して再生するリノベーション。その現場で生き残ったモノたちが語ります。

ええまだがんばってますよ。ちょっと老舗の喫茶店とか雑居ビルの飲み屋で時々お会いしますよね、ニットの便座カバーやレースのフタカバーは、最近ちょっと元気がないかな。

レモン石鹸も最近どうしてるんだろ。いやわたしは丈夫なのを取り柄でね、まあさすがにちょっと締めりが悪いとかかチョロチョロとね、いやお恥ずかしい。気になるのは住宅リノベーションの現場で連載連載、戦力外通告が続いていることかな。何ですかねえ。



「青便器」

築30年を超える一軒家に現地調査に行くと、かなりの割合で鎮座している青便器。色が濃いほど年代を感じる。80年代頃までは男子トイレの便器は青、女子トイレの便器はピンクといった例が多かったが、最近は男子トイレと女子トイレで違う便器の色を採用する例はほとんどない。バブル時代にはワインレッドがよく売れた時期もあったそうだが、現在は廃盤。ちなみに現在のカラーラインナップはベージュ、グレー、薄茶、パステルピンクといった“あたりさわりのない色”である。

「街だのな」第11回目

夜の黒色が溶けて
ぼたり

私の「目玉」になりました

みんなの腹の底の底で
君と私

寄り添って静かに歌う

ふたりの歌が

まっしろい朝に消えていく

君の「目玉」から見える空は
何色だっただろう？

私たちの頭の上で惑星が飛んでいる
私たちの踏みしめる この惑星も飛んでる

朝の白色が溶けて
ぼたり

私たちの「今日」になった

発行日 2013年11月30日
発行人 中谷ノボル アートアンドクラフト
編集 岡崎麗 竹内厚 (Re:S)
写真 平野愛
イラスト 山内庸資
デザイン 有佐祐樹 (marqmew)

制作・発行 株式会社アートアンドクラフト
550-0003 大阪市西区京町堀 1-13-24-1F
電話 : 06-6443-1350
営業時間 10:00 ~ 18:00 水日祝休

一級建築士事務所, 宅地建物取引業, 建設業, 古物商許可
(社) 近畿地区不動産公正取引協議会会員

均質化されていない住まい
あたらしい都市居住のスタイル

Arts&Crafts

あらたな視点で再発見！
不動産のセレクトショップ
realosakaestate
大 阪 R 不 動 産

マンション暮らしの新基準
セレクト型リノベーション

TOLA

 HOSTEL 64 Osaka

編集後記

「年末、九州いけへん?」、誰かが言い出した。
有志メンバーが集まり、すぐさまミーティングが催され、チケット手配にメン担当、その分担当業の手際の良さたるや…。
(その機転どこに隠してたんや?) は心に留めて、いざ極寒の軍艦島に上陸してきます。